

# 放課後子ども教室県中地区研修会

日 時：平成30年8月23日（木） 10:05～16:00

場 所：たまかわ文化体育館 参加者：36人

## 講演（10:20～11:30）

「子どもたちとのかかわり方を考える」

講師：福島県学校教育相談員 山本 和宏 氏

### ◎ 「聞くこと」の大切さ（講演内容より抜粋）

「子どもの言葉に心から耳を傾ける（傾聴）ことが何よりも大切である。本気で聴いてあげることが子どもたちとの信頼関係を構築することにもつながるのである。子ども教室の中で一人だけでなく、スタッフみんなが同じ歩調で実践してほしい。子どもとは訴えたい、認められたい存在なのである。」

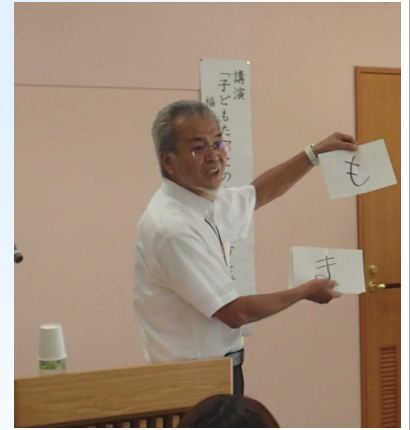
- ◎ 山本先生は今の子どもたちの現状や指導の仕方について、豊富な経験をもとに分かりやすく、温かな口調で参加者に話してくださいました。導入では、御自身の講演時の「ルーティン」であるマジックを披露していただきました。

### <参加者の声>

「難しいと悩まず、子どもたちが楽しく過ごせるように考えて私たちががんばります。」

「もっと長くてもよかったと思うほどでした。勉強になるお話を楽しくしていただいて本当によかったです。」

「子どもたちとの関わり方を考えるよい機会になりました。」



## 演習1（12:30～13:50）

「子どもたちを引きつける科学実験・工作」

講師：NPO 法人子ども・宇宙・未来の会（KU-MA） 下田 治信 氏

- ◎ 「KU-MA（K）子ども（U）宇宙（M）未来の（A）会＝Association」はJAXA宇宙教育センターと連携し、家族での継続した楽しい学びで家族の絆を深めたり、地域のつながりを育む「宇宙の学校」を全国各地で展開しています。講師の先生の中にはJAXA宇宙教育センターの教材開発委員として教材の開発に携わっている方もいらっしゃるそうで、下田先生もそのお一人です。

今回は、「傘袋ロケット」と「熱気球」の実験・工作を行いました。

### ◎ 傘袋ロケット

膨らませた傘袋に輪にした紙をおもりとして巻きつけます。おもりの位置をずらして、どこに着けるとよく飛ぶかを試行錯誤しながら実験しました。

### ◎ 熱気球

建物の壁の塗装時に養生用として使われる薄い素材の大きなポリエチレンのシートを2枚用意し、グループで協力して大きな気球を作ります。紙を輪にして作った口からドライヤーで熱風を送ると、徐々に大きな熱気球になりました。グループでカウントダウンをして飛ばすと、体育館の天井までみるみる上昇していき、実験は大成功しました。上昇していく気球に参加者からは大きな歓声が上がりました。

### <参加者の声>

「このワクワクを子どもたちにも味わってほしいです。」

「身近な素材で科学の学習をすることができました。子どもたちも十分楽しめる内容でした。」

「熱気球が上がった時は感動しました。機会があれば子どもたちにも体験してほしいです。」



## 演習2 (14:05~15:15)

### 「子どもたちを引きつけるレクリエーション」

講師：福島県青少年団体連絡協議会 会長 増子 恵二 氏

◎ 増子先生からは「フラフープ」「ボール」「カラーコーン」の3つの用具を使ってたくさんの遊びを教えていただきました。

ジャンケン自己紹介、グループ作りゲーム、グループ対抗でのゲーム大会など、参加者の皆さんは暑さを忘れて大いに盛り上がりました。特に最後のジャンケン陣取りゲームでは、激戦が繰り広げられ、勝負が決まった瞬間にはメンバー同士でハイタッチするなど、大人でも楽しめる多彩なレクリエーションを体験することができました。

<参加者の声>

「知らない人たちばかりで不安に思いましたがとても楽しいレクでした。クラブでもやってみたいです。」

「大人が夢中になってしまうほどで、子どもたちへも上手に提供していきたいと思いました。」

「簡単に体育館でできる陣取りジャンケンゲームは参考になりました。ボールやフラフープを使ったゲームも楽しかったので活用したいです。」



## 情報交換 (15:15~15:55)

### 「各教室での取組や成果と課題」

◎ 研修の最後に5つのグループに分かれて情報交換を行いました。放課後子ども教室関係者、放課後児童クラブ関係者のグループともに熱心に協議することができました。

グループによって話題は様々でしたが、「学校や地域との連携」「子どもの問題行動や叱り方」「スタッフの確保」などの話題が上がっていました。閉会後も情報交換を続けているグループもありました。

<参加者の声>

「いろいろな場所の話聞くことができよかった。」

「たくさんのアイデアを聞かせてもらった。」

「他の情報が聞ける機会はなかなかないので、情報収集ができてよかったです。」

